

能楽研修発表会

第33回 青翔会

舞囃子〔喜多流〕**邯鄲**

シテ 佐藤 陽
笛 鈴木 麻里¹¹
小鼓 森 貴史⁶
大鼓 亀井 広忠
太鼓 小寺真佐人
金子 龍晟⁹
佐々木多門
金子敬一郎
狩野 祐一⁹

舞囃子〔宝生流〕**草紙洗**

シテ 亀井 雄二
笛 一噌 隆晴⁹
小鼓 岡本はる奈⁸
大鼓 亀井 洋佑⁹
朝倉 大輔
辰巳 和磨
辰巳満次郎
今井 泰行
高橋 亘

舞囃子〔金春流〕**船弁慶(後)**

シテ 安達 裕香⁹
笛 熊本俊太郎⁹
小鼓 大倉伶士郎⁹
大鼓 柿原 孝則⁹
太鼓 姥浦 理紗⁹
柏崎真由子⁹
岩松 由実
村岡 聖美⁹
林 美佐

脇語り〔下掛宝生流〕**七騎落**

渡部 葵¹¹

狂言〔大藏流〕**仏師**

シテ/すっぱ 木村 直樹¹¹
アド/田舎者 大藏 章照
後見 大藏彌太郎

能〔観世流〕**乱**

シテ/狸々 山階彌右衛門
ワキ/高風 野口 琢弘
笛 平野 史夏¹⁰
小鼓 寺澤祐佳里¹⁰
大鼓 安福 光雄
太鼓 大川 典良⁵
後見 観世 清和
坂口 貴信

地謡 武田 崇史⁹ 清水 義也
関根 祥丸 浅見 重好
木月 章行 井上 裕久
木月 宣行 角 幸二郎

⑨ 研修生・研修修了者 ⑩ 研究生
※数字は研修の期を表す

令和6年

3月12日 火

午後1時開演(正午開場)

全席指定

※字幕表示はありません。

入場料金 (全席指定)

正面 / 1,800円 脇正面 / 1,200円 中正面 / 900円
学生: 脇正面 / 800円 中正面 / 600円

※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日

電話・インターネット予約開始 / 2月10日 午前10時より
窓口発売開始 / 2月11日 (チケット売場: 午前10時~午後6時)
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

National Noh Theatre March 2024 Presentation by trainee : March 12 (Tue.) 1 pm
Tickets : ¥900-¥1,800 On Sale : February 10 (Sat.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000(10:00-18:00[JST])
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are not available.



主催：独立行政法人日本芸術文化振興会



発表会 能楽研修

第33回

青翔会

令和6年

3月12日 火

午後1時開演 (正午開場、午後3時40分頃終演予定)

全席指定

※字幕表示はありません。

- お願い
- 出演者などの変更の場合はご了承ください。
 - 駐車場がございませんのででのご来場はご遠慮ください。
 - 上演中は、時計等のアラームや携帯電話の電源はお切りください。
 - 上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。

青翔会は、国立能楽堂能楽(三役)研修生をはじめとする若手能楽師の技能研鑽のための公演です。次代を担う若手能楽師たちが、日頃の稽古の成果をご披露するため、懸命に舞台を勤めます。皆様のあたたかいご声援をお待ち申し上げます。

舞囃子 邯鄲

かなた

中国の青年・盧生が邯鄲の里で兩宿りをして、宿に伝わる不思議な枕に臥してひと眠りしていると、帝の使いが来て盧生は皇帝となり、不老不死の薬も手に入れます。絢爛たる宮殿で「楽」を舞い、栄耀豪華を極める盧生。ところがふと目を覚ますと、粟飯が炊けるわずかな間の夢だったと知り、「何事も一睡の夢」と悟るのでした。

舞囃子 草紙洗

あしあし

宮中の歌合で、小野小町は大伴黒主の企みにより窮地に追い込まれます。黒主は、小町の歌を盗み聞き、「万葉集」の草紙に書き入れて古歌であると非難したのです。墨色がおかしいと気付いた小町が草紙を洗ってみると、文字は消え、黒主の悪事が露呈します。小町はこれを許し、和歌の徳を称えて舞うのでした。

舞囃子 船弁慶(後)

ふなべんけい

兄・源頼朝との不和が原因で都落ちし

た源義経一行は、大物の浦にたどり着きます。今回の舞囃子は、船を沖に出した義経らの前に、平知盛が怨霊となって現れる後場の上演です。知盛の怨霊は長刀を手に取って勇壮に舞い、恨みを晴らすうとしますが、義経は太刀を抜いて、弁慶は法力で応戦します。敗れた知盛の怨霊は波間に消え入ります。

協語り 七騎落

しちきりおち

石橋山の合戦に敗れた源頼朝にしたがう土肥実平は、頼朝の命を受けて泣く泣く息子・遠平を陸に残し、一行は船で逃走します。ところが、思いがけず遠平との再会を果たし、めでたく酒宴が開かれます。喜びの舞を舞う実平は、忠勤の名を後世に残すことになるのです。

狂言 仏師

ぶつし

ある田舎者が、新たに建てたお堂に安置する仏像を求めに都へやってきました。すっぱは「自分は仏師」だといって田舎者を信用させ、翌日までに仏像を作ることなりしました。すっぱは面を掛けて像

能 乱

みだれ

中国・金山の麓で酒屋を営む高風の店で、いつも酒を飲んでいる男がいました。いくら酒を飲んでも、顔色一つ変えないその男は、実は海中に住み、酒をこよなく愛する伝説の生き物・狸々でした。高風が、ある月夜の晩に薄陽の江のほとりで待っていると、狸々が姿を現します。狸々は高風と酒を酌み交わすと、酒の徳を語って盃を傾け、舞を舞います(乱)。やがて、狸々は高風の徳を称え、汲んでも尽きない酒壺を与えると、酒屋の繁栄を祝って去って行くのでした。本曲は本来「狸々」という曲名ですが、「乱」という特殊な舞を舞う場合、曲名を「乱」と称しています。舞の「乱」は、緩やかなナンポで複雑なリズムを持つ曲で、波と戯れる様子を様々な所作で表現します。

能楽界で秘曲として大切に扱われているこの作品に、10期研修を修了した囃子方の2人が初めて挑みます。



入場料金 (全席指定) 正面/1,800円 脇正面/1,200円 中正面 900円
 学生: 脇正面/800円 中正面/600円
 ※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
 電話・インターネット予約開始 2月10日(土) 午前10時より
 窓口発売開始 2月11日(日) 午前10時より
 (チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。
 国立劇場 チケットセンター (午前10時~午後6時)
 0570-07-9900 03-3230-3000 [一部IP電話等]

インターネット 国立劇場チケットセンター 検索

●プレイガイド=チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
 e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

主催: 独立行政法人日本芸術文化振興会

国立能楽堂

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL. 03-3423-1331(代)
<https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

伝統芸能を未来につなぐ
 くらごちゃんファンド(国立劇場基金)
 ~国立劇場各館の事業に 皆様のご支援をお願いいたします~
 お問合せは▶ TEL 03-3265-6719 [くらごちゃんファンド](#) 検索